

三大方針貫徹へ再渡ストも辞せず

日刊 勤労千葉

87. 10. 17
No. 2680

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

第12回定期大会報告



再度闘いへの決起を訴える中野委員長

「三大方針を貫徹しよう」
中野委員長あいさつ

すべての組合員のみなさん！

勤労千葉第十二回定期大会は、十月十六日、九十九里町・九十九里センターに代議員・傍聴者・家族会・来賓を迎え開幕した。冒頭、中野委員長より「本大会は勤労千葉の創設者である関川前委員長追悼の大会だ。関川さんが切り開いた地平を守り突き進もう」と訴え、関川前委員長の遺影に対し黙禱をささげ、全参加者で決意を固め大会の成功を誓った。

関川委員長に決意を誓う

議長団に永田（千葉転）、国分（新小岩）両君

大会は十時すぎに内山執行委員の「大会を成功させよう」の開会宣言で始まった。田中特執より資格審査結果が発表され、大会の成立が確認された。議長団に永田（千葉転）・国分（新小岩）両代議員が選出され、「二八名の解雇者・十二名の清算事業団送り、千名に及ぶ処分者を出しながらも『4・1分割・民営化』を粉碎して移行した。その上で当局は勤労千葉つぶしの強制出向攻撃をかけようとしている。これに勝たどうか未来を決める。不安や動揺を払拭するため今定期大会で討論し、糧にして出向攻撃に一致団結して闘いぬこう」と永田議長は訴えた。

大会書記局・役員指名後、役員選挙管理委員会設置、大会スローガン（案）が提起された。

今大会の第一の課題は、この間の闘いを総括し、千名の組合員・家族がやりぬいた闘いが何であったかを確認することだ。国鉄の財政は解決したのか？否である。清算事業団に二十数兆円の借金を持ち込み、いくつかの会社に分担しただけだ。黒字経営と言っているが清算事業団が抱えた借金は各会社にかぶされることは間違いない。まさに彼らの破綻は国民の目の前に鮮明になりつつある。問題は、指摘し責任を追及する勢力が存在しないことだ。中曽根は、総評労働運動を解体することがあらゆる闘いを崩壊させる方法であるところを、『戦後政治の総決算』攻撃をかけてきた。しかし、産業報国会的な『一企業一組合』ができたか。できなかった。勤労千葉は、上映・物販で全国を駆けめぐり、国労は、四万の組合員が旗を守った。鉄道労連は、勤労革マルと鉄労の対立に見られるとおり内実は矛盾だらけだ。すでにわれわれは、勤労総連合を創り、西日本の仲間も結集した。これを母体に本物の組合づくりにもっていかねばならない。今日、「4・1体制」の特徴は、労働者にモノを言わせない、組合活動を一掃することにある。

この中で勤労千葉が勝ちとする第二の課題は、全体が今一度「分割・民営化」阻止のストにたちあがったように熱気あふれる状況を創りあげることだ。その第一の闘いは、二八名の解雇者、十二名の清算事業団の仲間、営業へ強制配転された仲間の原職を奪還することだ。

第二の闘いは、強制出向を中心とする攻撃にたちむかうことだ。すでに四月以降、東日本で七百名が出向に出され、その内、七〇%が国労組合員であった。しかし、国労は、有利な勧告が出ているのに闘うという風にはなっていない。この中で勤労千葉がスト権を九〇%を超えて確立し全体を席卷している。本大会で今一度強制出向にたちむかい、これが仲間

来賓のあいさつと闘う方針の提起

続いて来賓の方々よりのあいさつをうけた。

成毛県労連議長は「動労千葉の旗を前に進めるためにも今大会で論議を深めてもらいたい。厳しい状況の中を闘い抜く方針を確立し、県労連への支援を」と語った。

中江船橋市議は「闘う動労の旗を再び掲げていく指導部は動労千葉以外ない。私も労働運動と市民運動の連帯を深める」と決意を明らかにした。

動労水戸より辻川委員長があいさつを行った。「動労千葉・総連合が右翼再編の中で全労働者の指導部として頑張ることが問われている」と闘う決意を述べた。

家族会を代表して林会長はJRは『奴隷会社』とまで言われていると聞いた。これと闘っているのは動労千葉だけ。もつと闘ってもらいたい。沖縄カンパがありがとうございました」と闘いを支える決意とお礼を述べた。

その後、多数寄せられたメッセージが紹介され、そして、議事に入り、一般経過報告、八七年度方針案（布施書記長）提案後昼食に入った。

午後に入り、大会延期承認（白井執行委員）の後、労働協約・協定締結報告（山口副委員長）、八六年度会計報告、八七年度予算案（水野副委員長）、組織・財政検討委員会答申（白井同委員会委員長）犠牲者救済規則および総合共済規則摘要承認（内山執行委員）と提起された。

（次号へつづく）



議長に選出された永田代議員(右)、国分代議員

と組織を守る道であることを確認しよう。

第三の闘いは、運転保安の危機を叫ばなければならぬことだ。乗務員は労働強化のなかで心身共に疲れきり、線路はあと一年もしたら大変なことになる。この状況を見ると、運転保安確立の闘いに再度立たなければならぬ。この大きな三つの柱を貫徹するために再度ストも辞さず闘いぬこう。今大会で賛同が得られたら大会終了後直ちに全組合員による一票投票を行いたい。動労千葉がこのことについて引かないことを満天下にはっきりさせていく。この闘いの中で最も重要な点は、財政基盤の確立にある。事業部活動を本大会を期して大きく前進するたれに取り組む。物販・保険・共同購入を取り組む態勢を創りあげてもらいたい。かつてのように荒波の中に乗り込む決意を固めよう」と結び、全体の拍手で確認された。